

# MonthlyTimes (H27.11月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★

## 第109回品評会・文化祭開催

20日(金)、21日(土)、「品評会・文化祭」を開催しました。一般公開の21日は、お天気にも恵まれ、たくさんの方が来場し、盛況のうちに幕を閉じました。



### 【品評会】

品評会は開校以来一度も途切れることなく、今年で109回を数える学校・地域の伝統行事です。今年も、449品の農産物を出品いただき、1年生が授業で栽培した農作物と併せて598品が展示されました。品評会表彰式では、一般の方々と共に、生徒も表彰されました。5年前からかつての賑わいを取り戻そうと「地域協育会」・「同窓会」・「PTA」・「学校」が協働して、様々な取組を行っています。「地域交流農産物展」はその一つ。品評会への出品とは別に、地域の方々が丹精込めて作った農産物を持ち寄り、農産物を交換することを通じて、交流の輪を広げようとするものです。

### 【文化祭】

20日(金) 体育館で、開会行事を実施しました。クラス・系列・クラブ・有志による舞台発表が行われ、いずれも力こもった充実したものばかりでした。「クラス舞台の部」で最優秀に輝いたのは2年2組の「とにかくあかるい映像集」でした。サスケの「青いベンチ」がバックに流れるなか青春のほろ苦い物語が見事に表現された素晴らしい作品でした。開会行事のフィナーレでは生徒と職員と一緒に舞台上がり、歌やダンスで大変盛り上がりしました。

21日(土) 生徒は品評会の運営・展示・発表、模擬店等に取り組みました。

3年前から、「餅つき」が復活しています。農業系列生が地域の棚田で栽培したもち米を蒸し、地域の方からお借りした年代物の杵と臼で餅をつきました。最近ではあまり見られなくなった光景にたちまち人垣ができ、校長先生らが杵を振り上げるたびに、歓声が沸き起こりました。出来たてのお餅は、あんこやきな粉をまぶし来場者にふるまわれました。

## 防災訓練実施！

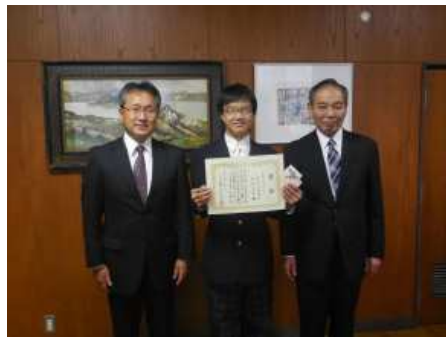


5日(木)「津波防災の日」南海トラフ地震発生を想定した避難訓練を実施しました。10時、校内放送にて緊急地震速報のアラーム音及びアナウンスを流し、各教室で身の安全を確保する行動の後、体育館へ避難しました。この日は、近くの中央保育所の園児50名と職員16名も本校の体育館へ避難されました。河本校長先生から以下の3点について講話をいただきました。『1.まず、地震が発生し速報が流れたら数秒であってもいかにして自分の命を守るかを考えること』『2.本校は海拔26mの高さにあるが、自宅が海に面した低い場合は津波を予想して逃げる場所を考えておくこと』『3.東日本の地形とよく似た和歌山でも東北のような被害が予想される。想定にとらわれることなく自ら率先して逃げて自分の命を守ること。』

次に竹中生徒指導部長より「日頃の生活の中で人の話をしっかり聞いて、よく考えて行動することが、地震や津波のような混乱の中でもきっちり行動できることにつながるのだ。」とお話していただきました。本校の体育館が災害時の避難場所に指定されており、高校生としてさまざまな面で期待されている部分を自覚して行動してもらいたいと考えています。

## 税の作文、湯浅税務署長賞！

18日(金) 1年7組の宮井浩年君が、税に関する高校生の作文「気付けば、そこに」で「湯浅税務署長賞」を受賞し、谷口喜久雄湯浅税務署長より表彰を受け、賞状と副賞を授与されました。



## 系列NEWS

### 農業系列 棚田で稲刈り

5日(木) 有田川町瀬井の棚田(竹本農園)で、農業系列2・3年生16名が稲刈りと地元農家との座談会に参加しました。

本校が4年前から実施しているこの取組は、生徒が稲作技術の学習とともに地域の方々とコミュニケーションを取りながら、棚田の重要性や活用方法や耕作放棄地の問題など地域農業の現状を学ぶ目的で実施しています。米の栽培だけでなくトウガラシの栽培や田んぼの環境調査等も行う事で幅広く棚田について学んでいます。

生徒は地域の方々の指導をいただき、6月に植えたもち米の稲を汗をかきながら刈り取りました。稲刈り後には、地域の方々から棚田を含めた中山間地での農業や暮らしについて様々なお話を聞くことができました。今後の学びに活かして欲しいものです。



## ☆福祉系列「救急救命講習」と受講

17日(火)福祉系列2年生が、「生活支援」の授業のなかで、有田川町消防署から講師をお招きし、「救急救命講習」に臨みました。

生徒は2班に分かれ、講師の方の懇切丁寧な指導の下、心肺蘇生とAEDの使い方について学びました。将来、介護の仕事のなかで必要な知識や技能となるもので、皆真剣に取り組みました。

講習の最後にな内容についてのチェックテストを受けました。後日その結果と修了証が送られてきますが、楽しいことです。

